2020年1月20日

　　　　　　　　　　　　　　第50回評議員会報告

日時：2020年1月18日(土)１４：４５～１７：４５

場所：東京大手町サンスカイルーム２７階

議事：〇国内委員会委員の当連盟評議員就任並びにご紹介

議題：１．2019年11月～2020年1月の事業報告及び今後の日程

　　　２．部会等からの報告

　　　（１）組織部会

　　　（２）財務部会

　　　（３）定款・諸規程改正検討部会

　　　（４）知と平和の文化部会

　　　（５）地域代表・青年代表理事会議

　　　３．2020年度事業計画及び予算の骨子(案)

〇ご講演

　文部科学省　大臣官房総括審議官　串田俊巳　様　　演題「学校をめぐる最近のトピック」

　　講演の要旨：

　　　１．小学校における英語教育

　　　　・今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール　令和2年度から完全実施（教科書使用開始）

　　　　・学習指導要領改訂の考え方　「何ができるようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶか」

　　　　・主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の視点からの学習過程の改善

　　　　・小学校の標準授業時数　外国語活動　3年4年(年間35時間)　外国語5年6年（年間70時間）

　　　２．GIGAスクール（Global and Innovation Gateway for All）

　・GIGAスクール構想の実現

　　　　〇Society5.0時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICT教育を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務。

　　　　〇このため、一人１台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

　　　３．コミュニティ・スクール

　　　　・地域と学校の連携・協働について

　　　　・地教行法改正後のコミュニティ・スクールの仕組み

　　　　・「地域とともにある学校づくり」に向けたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

　　　　・目標　すべての公立学校において学校運営協議会制度が導入されることを目指す

　　　　　　　　すべての小中学校区において地域学校協働活動が推進されることを目指す